

菊陽人りさーち



つじはた ゆきや
辻畑 征弥さん
(20歳・八久保)

- 趣味 漫画を読むこと
- 特技 数学、勉強を教えること
- 今後の目標 将来の夢をみつける
- やってみたいこと 新しい分野を大学で学びたい
- 両親へ 育ててくれてありがとう

【菊陽のおすすめスポット】
さんさん公園(学校の行事で訪れて楽しかった思い出があります)

いわした まさゆき
岩下 将之さん
(20歳・三里木北)

- 趣味 スポーツ、剣道
- 特技 将棋
- 将来の夢 海外で働く
- やってみたいこと 世界一周
- 友達へ たくさんお酒飲みに行きましょう

【菊陽のおすすめスポット】
武蔵ヶ丘中武道場(剣道を頑張った思い出の場所です)



菊陽人りさーちの掲載を希望する人は氏名、年齢、住所、連絡先(昼間)をお知らせください。掲載対象は、小学生以上で菊陽町に住んでいる人です。掲載が決まりましたら、ご連絡します。

■申し込み・問い合わせ
〒869-1192 (住所不要)
菊陽町役場総合政策課 ☎(232) 2112
sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp



ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 95

人権教育・啓発課 ☎(232) 2113

人権啓発標語 「勇気を持った 私の一言 友達一人増えました」

菊陽中部小学校 5年 横山 柊香

「未来へ」



「『平和のバトン』を受け継いでいく」と話す石原悠夏さん

私は今まで「戦争がうばったものは何か」というテーマをもとに平和学習をしてきた。しかし、長崎の地で語り部の八木道子さんから「『平和のバトン』はだれにでもつなぐことができる」という話を聞いて、自分自身が情けなくなった。私の心のどこかに、戦争は自分たちには関係ないという思いがあったことに気がついたからだ。

私は、修学旅行の実行委員や班長をした。私が困った時は、班のみんなと一緒に考えてくれたり、はげましてくれたりした。だから、私もみんなのように困っている人に気づき、行動できる人になりたいと思った。

武蔵ヶ丘北小学校 6年 石原 悠夏

きっとこのことも戦争をなくす第一歩につながるのではないだろうか。

最近、テロや核実験などが行われ、世の中が少し戦争に近づいているような気がする。戦争はひとつとではない。長崎の地で現地学習をし、八木さんからたくさんの思いを聞いた私たちは「平和のバトン」をうけついで者として、次の世代に戦争の悲惨さや恐ろしさを伝えていく責任がある。71年前、戦争によってうばわれたたくさんの人々の「命」「夢」そして、「未来」にこめられた思いをむだにしたい。

これからは、差別や偏見、私たちの周りで起きている戦争などに対して自分自身をふり返り、気づき、考え、行動できる人になりたい。

(先生から)身の周りで困っている人に気づき、行動することが戦争をなくす第一歩につながるのではないかと悠夏さんの思い、よく伝わります。「平和のバトン」を受け継いだ者として、差別や偏見を見抜き、行動にうつせる人になってください。

「にんじんほりのおてつだいをしたよ」

なかよし園 豊住 拓聖(6歳)



ママのお手伝いをしたよ



絵の題名 「にんじんほり」

はたけにいてにんじんをほってママのきかいにいられたから、はっぱをどどんおとしていってからはここにいられた。

いっぱいもってママに「はい」ってしてからママがもてなかったからぼくがもった。あおむしがおったけんもってかえた。

かえってからは、ママがせんたくもんをほしてからぼくがたたんだ。

(先生から)拓聖さんは、給食の時、苦手な物を食べられない年下の子に「少しだけ食べてごらん」「おいしいよ」と声を掛けて、食べ終わるまで見守ってくれる優しいお兄さんです。この絵はお母さんと畑に行きお手伝いしたときのことで、ママの働く姿に自然と自分も手伝おうと思った優しい気持ちが伝わります。保育園でもにんじんの機械のことや畑で見つけたモグラのことなど生き生き話してくれています。

菊陽句会報

きくよう文芸

短歌会

七草や家族笑顔の野の香り	宮川ユキエ	鳴の群朝風呂浴びて古郷へ	緒方チエ子
何鳥と問ひ合ひ七日の老の庭	井上久美子	七草を孫に伝へて粥する	財津 早雪
蘭荳ふくらむ鉢も初日浴び	紫藤 祥子	去年今年節目なきかな厨ご	原野レイ子
寛ぎをたつぷり貰ひ柚子湯かな	曾我 育代	咲くまに乱るるままに白水仙	力 幸子
凍て蝶の枯葉と紛ふ植木鉢	曾我トモ子	初夢や夫の買ひ来し靴をはく	寺尾千代子
美しきかな初東雲の日本海	村上 朋子	生垣つたひ並ぶ国旗や淑氣満つ	高橋 孝子
香水の銀のひもとくクリスマス	米山るみ子	わきいづる如くに冬の星座かな	堀川 妙子
日々仰ぎ今朝巖かに初五岳	吉田 幸子	年忘れ気しながらも著すすむ	福田 貴子
漆黒の高きを見上げ寒昂	木村 信子	一茎の水仙なれど供華に切る	佐藤 澄世

明日朝はマイナス三度の予報出で収穫間近のレタスに被覆す
いづことも在り処は知らぬ木犀のにはふ夕べの道帰りゆく
霧深き庭に芽吹きぬ冬草の清しき緑に抜く手を止めむ
寒空に梅は小枝を垂直に伸ばしし先に蕾ふくらむ
朝夕に庭を眺めて思ひ出す共に過せし優しき夫を
菜を洗ふ母の姿の思ひ出でて笥の音をひとり聞きをり
かねてより臥すこと多き友よりの賀状届かず三が日過ぐ
空気澄みて寒極まれる暁を羽ばたき止めし影流れゆく

梅田 國雄	河北 幸一	佐藤せい子	中村トシエ	古莊喜佐子	山川 カツ	山口 静子	松本 東亜
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------